

柔道競技大会要項

1. 大会名 第56回筑紫区中学校新人柔道競技大会

2. 期 日 令和4年10月22日（土曜日）

3. 会 場 大野城市立平野中学校 柔道場

4. 参加校 平野中学校 大野中学校 二日市中学校 那珂川南中学校

5. 参加資格

(1) 筑紫区紫区中学校体育連盟規約『大会出場資格』による

(2) 団体は男女とも各校1チームとする。（男子 選手5名 補欠2名）（女子 選手3名 補欠1名）

6. 開始時間 開場 8:30 集合・会場準備 8:30 計量 8:35~9:00

監督・審判会議 9:00 開始式 9:15 終了次第試合開始

先生方は8:00から会場に入れます。

7. 競技方法

【団体戦】

(1) 参加チーム数によって、専門部会で協議し、組み合わせを決定する。

（3~5チームならばリーグ、6チーム以上ならばトーナメントを基本とする。）

(2) チーム間の勝敗の決定は下記の通りとする

①勝者数の多い学校を勝ちとする。

②①で同等の場合は、「一本」もしくは、それと同等の勝ちによる勝者の多い学校を勝ちとする。

③②で同等の場合は、「技有」による勝者数の多い学校を勝ちとする。

④③で同等の場合は、「僅差」による勝者数の多い学校を勝ちとする。

⑤④で同等の場合は、リーグ戦では「引き分け」とする。決勝トーナメント戦では、代表戦を行い必ず勝敗を決する。

なお、代表戦に出場する選手は、チームの任意により1名を選出する。

(3) リーグ戦の順位は次のとおりとする。

①例：3勝,2勝1分,2勝1敗,1勝2分,1勝1敗1分,1勝2敗,3分,2分1敗,1分2敗,3敗の順とする。

②①で同等の場合は、リーグ戦を通じて勝者数の多い学校を上位とする。

③②で同等の場合は、リーグ戦を通じて「一本」もしくはそれと同等の勝ちによる勝者数の多い学校を勝ちとする。

④③で同等の場合は、リーグ戦を通じて「技有」による勝者数の多い学校を勝ちとする。

⑤④で同等の場合は、リーグ戦を通じて「僅差」による勝者数の多い学校を勝ちとする。

⑥⑤で同等の場合は、リーグ戦を通じて敗者数の少ない学校を上位とする。

⑦⑥で同等の場合は、リーグ戦を通じて「一本」もしくは、それと同等の勝ちによる敗者数の少ない学校を上位とする。

⑧⑦で同等の場合は、リーグ戦を通じて「技有」による敗者数の少ない学校を上位とする。

⑨⑧で同等の場合は、リーグ戦を通じて「僅差」による敗者数の少ない学校を上位とする。

⑩⑨で同等の場合は、代表戦（1名）による順位決定戦を行う。なお、代表戦に出場する選手は、チームの任意により1名を選出する。

8. 競技規則

(1) 国際柔道連盟審判規定（2022~2024）、「少年大会申し合わせ事項」および本大会の申し合わせ事項による。

(2) 勝敗の判断基準は、団体戦においては、「一本」「技有」または、「僅差（指導の差2以上）」とする。

個人戦においては、「一本」または「技有」以上とする。または「僅差」以上とする。

(3) 代表戦の判定基準は団体戦と同様にするが、3分間の本戦で得点差がない場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦による勝敗について、技による特典がない場合は「指導」差が上回った時点で決する。

(4) 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。

「一本」=「反則勝ち」>「技有」>「僅差」

- (5) 寝技において、意図的な締め技については「指導」、のどに襟がかかった状態については「待て」とする。
- (6) 試合時間は、個人戦、団体戦ともに3分間とし、延長戦は無制限とする。
- (7) 競技規則に問題が起こったときは、専門部会で協議する。
- (8) チーム編成（オーダー）は体重順とし、一番軽いものが先鋒、一番重いものが大将とする。なお、補欠の選手を入れる場合も体重順になるようにする。（体重が同じときは、新たに入るものが先鋒に近い方とする。）
- ①試合は、選手5名（女子3名）の対抗戦とする。オーダーの変更は認めない。尚、当日の軽量で順番が入れ替わることがある。
- ②一度退いた選手は、再出場することはできない。
- ③申し込みの選手が事故等のために変更する場合は、大会開始前において、学校長の職印を押した届けをもってこれを認める。※補欠選手の補充を行う。
- ④補欠が全員出場してなおかつ事故があった場合には、欠員のまま試合を行う。（選手は大将側から詰めて並べる）
- (9) 柔道着の色は白色とし、帯は白帯と黒帯のみとする。
- (10) 柔道着にゼッケンを使用して試合をする。（学校名・名字入り）
- ①布地は白色とし、サイズは横30～35cm、縦25～30cmとする。
- ②名字（姓）は上側2／3、学校名は下側1／3とする。
- ③書体は太字ゴシック体とする。（明朝または楷書でもよい）
- ④文字色は、男子は黒色、女子は濃い赤色とする。
- ⑤襟から5cm～10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
- (11) 女子は、上衣の下の部分に白色または白に近い色の半袖で無地のTシャツまたは半袖のレオタードを着用すること。
- （全日本柔道連盟が定める規定・平成25年4月1日より施行）

9. 申し合わせ事項

- ・中学校名以外のネームが入った柔道着は、使用しない。（柔道教室名など）
- ・受け身など柔道の基本的技量が不十分な生徒は、安全確保のため出場させない事。
- ・団体戦には、男子3名、女子2名以上で出場できる。なお、大会途中にケガ等で上記の人数を満たさない場合、トーナメント戦では棄権することになるが、リーグ戦の場合、のこる人数でリーグ戦を続けるものとする。（リーグ戦では、勝ち点計算の関係上）
- ・監督およびコーチは、審判に準じた服装とし、マナーを守って指導に当たること。
- ・保護者については、選手一名につき1名とする。また、筑紫区中学校体育連盟の感染拡大防止ガイドライン並びに全日本柔道連盟の感染拡大防止ガイドラインに準じて対応を行う。（詳細は別紙）
- ・AEDの設置場所は、監督・審判会議にて確認する。

10. 専門部長 西田 泰章（平野中学校 〒816-0962 大野城市つつじヶ丘4-1-1

TEL 596-6501 Fax 596-9778)

11. 大会役員

審判員 吉原 大輔（平野） 他 外部審判員

競技役員 西田泰章（平野） 早淵一郎（二日市） 久堀剛資（二日市） 船越小菜月（二日市） 初山翔（那珂川南） 宮崎奈緒（那珂川南） 中原浩子（天拝） 江藤信子（筑紫野南） 菅啓太（大野） 柿原和光（大野） 永田美紀（春日東） 石川紀子（春日南） 福島洋二（学業院） 大内喜也（学業院） 辻裕理（太宰府） 中村悦子（太宰府東） 長谷川さやか（太宰府西） 中西由香（大利） 吉村竜治（筑山）

12. 表彰 団体・個人とも、3位までを表彰する。（筑前地区大会の出場権は本大会の団体3位、個人3位まで）

13. 出場申し込み 9月30日（金）までに、規定の用紙に書き込み、校長職印を押し、平野中の西田まで提出する。9／30必着。